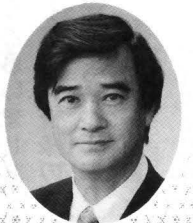


まつかぜ



平和学園創立60周年 「from平和2006」に向けて

平和学園小学校同窓会長
60周年記念事業実行委員長

山口 洋一郎

同窓生の皆様、平和学園は創立60周年を迎えました。平和学園は60年前の村島帰之先生の「平和であたたいか学園を築く事」(建学の精神)を大切に、湘南茅ヶ崎の地に唯一の私立校として発展して参りました。

7年前、伊藤虎丸学園長のもと、平和学園中学高等学校をアレセイア湘南中学校高等学校に変えて男女共学という形で再出発いたしました。同時に校舍改築が進行し本年5月2日にはアレセイア湘南中学校校舎が落成、献堂式を滞りなく終了いたしました。

このようにソフトとハードの両面から改革を行つてくる中に、裁判問題も抱えましたが、学園側の全面勝訴となり、その後の処理も終了し、60周年を迎えるのファンダメンタル(基礎的要素)は整備されてまいりました。しかしながら、60年間、茅ヶ崎にありながら、なかなか地域社会に学園の姿が見えてこない状況で、せっかくの良い教育でありながら、充分に知られていなかったり、過去のイメージからくる誤解を受けたりし順調に伸びているとは申せません。いよいよ、創立60周年記念事業が始まります。この60周年を機に、地域社会に平和学園の良さを大いに発信するため、複数の事業を継続的に、戦略的に行おうと計画しています。

昨年にはプレイベントとして、4月23日に三浦雄一郎氏をお招きしての講演会を行い、教職員・保護者・同窓生いわゆる平和ファミリーが一致団結し、

成功裡に終わることができました。多くの同窓生もご来校頂きました。この自信をもとに60周年記念事業を実施していくに当たり

平和学園で今までに行ってきた諸行事を中心にバージョンアップして行う

- できるだけ一般公開にし、多様なメディアにより広報し地域社会に発信する
- 平和ファミリーが一致協力する
- 60周年を機に「from平和2006」という冠をつけて継続的事業として行う

を基本方針として、計画しております。そして、平和学園の「一人一人を大切にす教育」を広く地域社会に知っていただき、新たな発展の基礎を作っていくたいと考えています。平和学園同窓会の皆様、60周年から又新たな一歩を踏み出す平和学園に、どうぞご支援をお願い致します。そして、本年11月4日には、「記念祝典」を開催いたします。特に記念礼拝の後、養老孟司先生をお招きして講演を頂き、その後、平和ファミリーのみんなでティーパーティーに集まり、楽しく親交を深め、お祝いをするともに、平和学園の明日への応援をいたしましょう。

パーティーの後は、各クラスで久しぶりのクラス会を持たれ、締めくくられたらいかがでしょうか。お勸めいたします。



心を入れ替えて??

同窓生の集うとき、単純に子供に
帰しているわけではありません!!

学校法人平和学園 学園長 夏村 充

先日、小学校卒業生の有志の諸氏、紳士・淑女の皆さんが、私の部屋の隣に集まっています。同窓会の打ち合わせなどで、遅くまで真剣な(?) 討議をなさっておられた様子です。さて、人間、「まじめさ」が、更に「真剣」になつて参りますと、持てるその本質(本性)があらわになるものです。というのは…。

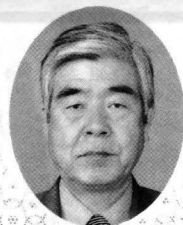
お隣の部屋とは言つても、そこは学園の「会議室」ですから、障子一枚のような代物ではなく、しっかりドアで仕切られているのですが、それでも「真剣(?)」な討議となりますと、ドアなどなんの障害にもなりません。かと言って、ことさら方が聞き耳立てていた訳でもありませんが、内容はともかく、互いに呼び合う固有名詞だけはしっかりと聞こえて参ります。

「ねえ、…ちゃん。」
「ハ、イ、…さくん。」
しっかりと、《同窓生専門用語》を聞き取ることができました。「与ひょう」は決して「おつう」の姿を見てはならないのです。きつと皆さんも身に覚えがあることでしょう。同窓生は「…ちゃん」「…さん」と呼び合います。しかし、それはあの日あのころの「私」、あのころの子供になりきってしまった、

というのではありません。あくまでも、お互いは大人です。ただ、同窓生なのです。お互い紳士・淑女。ただ、幼子の心に舞い戻っている。「大人である現在」に、かつてそうであった掛け替えのない「子供であった私」とを、重層的に共有できている時間、これが掛け替え無く貴重なのです。

さて、ご承知のように、聖書には、「心を入れ替えて子供のようにならなければ、天国に入ることはできない。」と言う言葉があります。同窓生の集まり、それは天国入りの切符を手にかけていることです。一つはそれです。そしてもう一つ、子供から大人になつていく過去から現在までのトータルな自分を享受できている。それが「同窓」という集まり。

お隣の部屋での事件(?)、それは紳士・淑女の皆さんが、お互いに《あるがままの私》に変身し得ているという、希有にして且つ貴重な、素晴らしいファンタスティックな真摯な現実…です。皆さん! 「平和学園《小学校同窓会》」へどうぞ!!
(夏村先生、騒々しくすみませんでした。(影の声))



アレイセイア湘南中学校 校長 中山 洋司

ありがとうございました

主の御名を賛美いたします。
今週は、中学校1・2年生の修養会で、軽井沢にある「恵みシャレー」に宿泊しています。今回の修養会の主題は、『出会い：イエス様ってどんな人』というタイトルです。

今日は三日目の午前4時45分、ふと小学校同窓会会長の山口洋一郎さんをはじめ皆様のことを思い出しながら原稿に向かっています。私こと、今年3月に平和学園小学校長を辞職し、4月にアレイセイア湘南中学に校長として着任しました。小学校同窓生の皆様には、小学校在職中はたいへんにお世話になり深く感謝申し上げます。皆様のご尽力により、同窓会誌「まつかぜ」が発行されたこと、ホームカミングデーの実施、60周年記念行事へのご協力等、感謝しなければならぬことは山ほどあります。本当に豊かな日々を過ごさせていただきました。

私にとって中学校という職場は、大学を出て初めての就職先がカトリック系の中学・高等学校でしたから、40年ぶりの復帰となり、若い頃の古巣に戻ったような感じがありました。

アレイセイア湘南中学校生は、体こそ大きいものの小学生と同様に、とても素直で明るい生徒達ばかり

です。平和学園の温かな空気がよき生徒達を育てているのだなとつくづく感じております。

中学校での夢は、空の星の数ほどあります。ただ「そのうち1つだけ紹介してくださいよ」といわれましたら、『一年でも早く、入学者が100名を越える中学校にしていきたい』というのが夢です。そのためには、教職員の皆と共に、小さなことにも大きなことにも目を向け、日々は努力を具体的にせねばいけないと思っております。私も覚悟を決めました。同窓生の皆様、どうかご支援・ご協力のほどをお願い申し上げます。

シマリスでしょうか、今、目の前にある林の木々の梢をぼんぼんと跳びながら通り過ぎていきました。リスが通った道筋の枝だけが余韻を残して揺れています。窓の外を見ながら軽井沢の風はさわやか。ふと『軽井沢の風、アレイセイアの心』という文言が浮かんできました。『そうだ、この文言を欠席した生徒に贈ろう』と……同窓生の皆様、本当にありがとうございます。軽井沢の地からですが、皆様のご多幸と益々のご活躍を祈っております。

軽井沢 恵みシャレー にて



平和学園小学校 校長 岡崎 一実

ただいま!

平和学園小学校同窓会のみなさん、旧職員のみなさん、「まつかぜ」読者のみなさん、ただいま。2006年4月1日付で小学校校長に就任した岡崎一実です。私こと、いまをさかのぼること33年、1973年に平和学園小学校を卒業しました。「岡崎三兄弟」の長男といえば、同世代の方は思い出してくださるでしょうか。公立小学校にてしばらく道草を食っておりましたが、2005年に平和学園に舞い戻り、今年度、現職を仰せつかった次第です。

小学校卒業時にいただいた卒業証書を開いてみたところ、卒業生番号が「第七七六号」となっていました。スリーセブンにはひとつ足りないところ、このひとつを「まつかぜ」に集う小学校同窓会のみなさんにお力添えいただき、補っていたいただきながら、与えられた大任を務めていきたいと思っております。今年度も平和学園小学校を祈りのうちに覚え、支えてくださいますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、小学校の近況をご紹介します。2006年3月、第89回卒業式が執りおこなわれ、17人の子どもたちが学園を巣立っていきました。これで小学校の卒業生は1527

人となります。

長年にわたり学園の発展にご尽力くださった雨宮隆先生(学園宗教主任)が3月末に定年退職されました。

4月には26人の一年生と新採用の黒岩唯子先生をむかえ、全校児童158人、専任職員13人(平均年齢39歳!)、非常勤職員10人の体制で2006年度をスタートしたところです。

なお、前校長の中山洋司先生は併設校であるアレイセイア湘南中学校の校長に就任されました。また、今年度から増淵秀俊先生が小学校主任のお仕事をしてくださっています。

学校のように、公開行事などはホームページとブログで随時ご紹介しています。どうぞご覧になってください。

* <http://www.saletheiac.jp/>
学園創立60周年となる今年、山口洋一郎同窓会会長の強力なリーダーシップのもと、11月4日の記念祝典をはじめとして、全学あげての記念行事を計画しています。この機会にぜひ小学校にお立ち寄りください。みなさんの里帰りを心からお待ちしております。

【私信】同期のみなさんへ
みなさん、「おつか」です。

長らくごぶさたしています。11月3日の小学校バザー、11月4日の記念祝典にぜひお出かけください。いっしょに小学校時代をすごした仲間のお子さんがたくさん在籍しています。待ってます!!

【お礼】

同窓会から頂戴したバザー寄付金は、PTAからの寄付金とあわせ、児童図書・小学校掲示板・楽器の購入に使わせていただきました。ありがとうございました。

平和学園小学校

バザーのお礼とお願い

昨年のホームカミングデー(バザー)では、皆様のご協力で39730円の売上を得ました。内、小学校へ20000円寄附、残金は同窓会室のロッカー購入費等に当てるつもりです。ありがとうございます。

さて、今年、11月3日(金)(記念式典の前日)に例年通り、小学校はバザーを開催いたします。ホームカミングデーもあります。どうか皆様、又寄贈品をお寄せ下さい。又、お手伝いもお願いします。

【寄贈品送付先】

〒253-0031
茅ヶ崎市富士見町5-2
平和学園事務局内

竹崎真佐子様宛

「湘南からの教育の発信」

平和学園の教育の

実践報告・研究及び講演

平和学園教育研究所（所長・中山洋司前小学校長、現アレセイア中学校長）が主となって3年前より企画されている二日間にわたる一般公開の事業です。毎年幼小中学校がそれぞれテーマを決め、教育の中身について実践報告・研究を発表し、更に講師を招いて主に教育論について講演を頂くものです。

本年は、記念事業ということもあり、左記の方にお話いただきます。

第1日目 8月25日

加藤幸次氏 「学力低下論」

上智大学名誉教授

名古屋女子大学教授

著書 「個別化、個性化教育」（岩波）

「総合学習の展開」

（その他300冊位）

第2日目 8月26日

津金沢聰廣氏

「創立者、村島先生について」

桃山学院大学

社会学部教授 社会学博士

著書 「現代・メディア史の研究」

村島帰之 著作選集

第1巻「カフエー考現学」

最後の時間は今年度入学した生徒の保護者による「なぜ、平和学園・アレセイアを選んだか」について、パネルディスカッションを行います。平和学園の教育内容が良くわかります。これから、同窓生で来年の入学児を持つご両親、又、お知り合いの方には是非ご紹介ください。参加をお待ちしています。

創立60周年記念祝典

講演・養老孟司氏

昨年、4月23日には三浦雄一郎氏をお迎えして、記念礼拝の後、講演をしていただきました。記念講堂はほぼ満席となりました。本年は、同じく記念礼拝の後、「ぼかの壁」著者で有名な養老孟司北里大学教授をお招きし、有益なお話をしていただくことになっていきます。

養老先生はいまさらご紹介するまでもないと思いますが、東京大学名誉教授で、解剖学が専門ですが、昆虫博士でも有名であり、文筆活動も盛んにされ数々のベストセラーを世に出しておられます。

一般公開ですので、大勢の参加が見込まれ、会場は体育館を予定しています。尚、終了後、平和ファミリア（教職員・保護者・同窓生）が集う創立60周年を祝うティーパーティーには是非ご参加ください。

12 / 9

クリスマス

パイプオルガンコンサート

奏者・沼尻(旧姓)めぐみ

湘南で数少ないパイプオルガンを持つ平和学園で、毎年12月に行われるパイプオルガンコンサートは、本年度21回目となります。

創立60周年を記念して、現在オーストリア・ウィーンを中心に活躍されている Megumi Cowans Rogers (昭和34年小学卒業、昭和40年高校卒業)さんに、存分にオルガンの素晴らしさを聴かせていただきます。クリスマス前のひと時、パイプオルガンの音色をゆっくりお楽しみください。



パイプオルガン コンサートによせて

S 34小卒 S 37中 S 40高卒 (沼尻めぐみ)
Megumi Cowans Rogers

ヨーロッパのど真ん中、東欧との接点、オーストリアの都ウィーンに住んで24年が過ぎました。

私は、母の希望した、賀川豊彦先生の教えを受けるべく辻堂の砂丘のてっぺんの家から、4里の道程を、祖父が赤く塗ってくれたセコハンの自転車をとばし、茅ヶ崎の平和学園に12年間通いました。

学園の慈悲に富んだ教育と生活の後、芸大という全く官僚的な音楽とは程遠い、乾ききった人間性の世界に放り込まれ、在学中の4年間、(鹿が谷川の水を求めるところ) その渴きをいやすべく練習に明け暮れ、毎日さまよい続けました。

芸大卒業後さらにアメリカのボストンに学び、そこでオーストリアのオルガンの巨匠、アントン・ハイラーに出会うという幸運に恵まれました。彼のアカデミーに参加して思いもかけず最優秀生徒に選ばれるという名誉を受けました。その上、世界中からの入門希望者のリストを抜いて、その年の9月からウィーンの国立音楽大学で彼のクラスに入る許可を得ることが出来ました。

くなられました。その悲しみの中、彼の後を継いで教授となったペーター・ブリアフスキーのご好意で、私はそのクラスに入学する運びとなったのです。私はすでに結婚し、2児の母となっていましたので、子供たちを連れての留学は大変でした。

毎日、子供を学校に連れて行き、その後走るように大学に通いました。練習は子供が学校にいる間や、放課後子供の勉強を見てやってから行いました。また、その寝姿を横に、鍵盤楽器のうちでは最も音の小さいクラヴィコード(バツハはこの楽器で、有名な「インヴェンション」を作曲しています)を朝日が窓にまぶしくコーヒの無性に恋しい自分にハッと気付くまで、弾き続けました。

海綿が塩水を吸収するごとく私は音楽に満ち足りて幸せでした。ウィーンでは「こうすべき」といった芸大式の音楽の代わりに「どう弾き表わせるか」というテーマが重んじられました。

3年の間に、教会音楽科とコンサートオルガニスト科を修めました。その後現在に至るまでウィーン市のゾーヴェリンク教区の教会でオルガニストとして働いています。

その私が、来る12月に私の今日に至るアイデンティティを決めることになった母校で、オルガンを弾くことになり、光榮に思います。

オルガンは、ルネッサンスのイタリヤのそのように、一段の鍵盤に一オクターヴあるかないかのペダルをついた、カナリヤのように、また人間音声にも似た美しい音を奏でるものから、ドイツパロツクの最高峰、バッハの愛した「ヅィルヴァーマン」などに代表される2段から3段鍵盤の充実した響きを持つ大オルガンまでさまざまです。一つ一つの楽器に歴史があるように、キリスト教国であるオーストリアの数多い古い教会には（私の弾く教会はローマ時代からの歴史があります）飽くことのない、それぞれの伝統があり、決して教会の外見だけで見比べられる質のものではありません。それは日本の禅寺などと全く同じことです。

故村島園長先生が書き示されたように——平和学園の生徒は他校との対抗試合に向いて負けても、その後を掃除して帰ってくるような子供たちでした。彼らはキリストに習い謙遜の徳を示すことを「人の命の宝」と教えられ信じました。「個人性を重んじたキリスト」の道に習う教育の姿でした。大小を求めない教育の理念は、今も現在の私を支えてくれています。もし私の音楽に、その教えが現れ出てくれれば、母校の楽器をなんらかの形で歌わせることが出来れば幸いです。皆様の心の耳を期待して訪日を楽しみにしております。

維持会費納入と

寄附のお願い

毎年のように今年も維持会費の納入をよろしくお願い致します。（年間1000円、22歳以下の方は免除です）

皆様の維持会費で何とか同窓会の運営が成り立っております。主な出費は通信費です。通信費節約のためにも是非下記の事務局会計（大村氏）までメールを送って下さい。

oomuranamio@yhb.ne.jp

今年60周年記念事業として寄附のお願いもしております（別紙参照）

同封の振込み用紙1枚で維持会費、寄附共振り込んでいただきますよう、よろしくお願い致します。

歓迎 新入会員

今年の小学校の卒業生は17名（進学先/アレセア湘南中学校7名、他私立中学校10名）

アレセア湘南中学校の卒業生は29名、計46名が新しく同窓会の仲間になりました。



児童募集

(小学校)

- ◆募集人員 / 27名 (男・女)
- ◆願書受付 / 9月26日(火)~10月6日(金) 土・日・休日を除く
- ◆試験日 / 10月24日(火) 午前10時 第二回入試もあります

※詳細は下記まで
http://www.jr.aletheia.ac.jp/
TEL 0467-87-1662

生徒募集

(アレセア湘南中学校)

- ◆募集人員 / 80名 (男・女)
- ◆試験日 / 2月1, 2, 4, 7日(予定) 9月に正式発表

※詳細は下記まで
http://www.jr.aletheia.ac.jp/
TEL 0467-87-7760
FAX 0467-87-0496

平成17年度 会計報告

収入	30,000	360,000	170,000	39,730	186	2,248,392	2,848,308
支出	20,000	18,100	188,735	51,000	22,190	2,594	5,551
繰越金	2,520,418	2,520,418	2,520,418	2,520,418	2,520,418	2,520,418	2,520,418
合計	2,848,308	2,848,308	2,848,308	2,848,308	2,848,308	2,848,308	2,848,308

公開行事予定

- 5月20日(土) 感謝の日礼拝
- 8月25日(金) 湘南からの教育の発信
- 8月26日(土) オープンスクール
- 9月23日(土) 学校説明会
- 9月23日(土) 平和をともし
- 9月27日(水) 学芸会
- 9月29日(金) パイプオルガン
- 10月28日(土) パイプオルガン (義老孟司氏講演会)
- 10月31日(土) パイプオルガン (Megumi Rogers)
- 11月3日(祝) パザール
- 11月4日(土) 60周年記念祝典
- 12月9日(土) パイプオルガンコンサート
- 12月15日(金) クリスマス礼拝
- 3月9日(金) 学習発表会
- 9時15分より お話会 (毎週火曜日)

人事

- 同窓会室が今までのダイアンサス102号室より、左記に移転しました。同窓会やクラス会の仕事には、いつでも使えます。申し込んで下さい。
- 場 所 / 本館三階
開館日時 / 月・木・金曜日 9時~16時
事務職員 / 竹崎真佐子(常駐) S31(中卒)
電話 / 〇四六七(八七) 〇一七四
- 新任
平和学園 夏村 充
平和学園 吉川 友浩
平和学園 顧問 (学園長事務補佐)

- 平和学園 園長 橋 明子
平和学園 園長 岡崎 一実
アレセア湘南中学校 校長 中山 洋司
アレセア湘南高等学校 校長 飯塚 正秀
平和学園 事務局長 黒田 卓
平和学園 事務局長 雨宮 隆彦

編集後記

いつもは、秋に発行しておりますが、今年には記念行事の関係でこの時期になりました。同窓会長はじめ一同張り切っておりますので、是非、皆様母校へお出かけ下さい。

今回も、原稿をお寄せくださった方々ありがとうございました。
岡田・高屋・細矢

お気軽に私たちの学校へいらしてください (事前にお電話ください)